

# 四国・水こぼれ話

Water Information Saloon Shikoku

## 談話室 Vol. 81

### 『人とみどりが輝くぬくもりの町 松前』

愛媛県 松前町長

しらいし かつや  
白石 勝也



松前町は、石鎚山系に端を発した一級河川重信川を境にして県都松山市に隣接し、道後平野の西南部にあります。西は伊予灘に面し、南は伊予市をへだて四国山脈が望める豊かな自然と土地に恵まれたところです。現在では立地条件の良さから、3万1千人余の人口を有し、豊富な地下水と肥沃な土地を生かした農業をはじめ、工業、商業のバランスのとれた町として順調に発展を続けています。

町民と清らかな水との結び付きを深めるため湧き水を生かした空間づくりとして、福德泉公園・ひよこたん池公園・有明公園の3箇所の親水公園を整備しています。中でも福德泉公園では、水辺に親しむイベントとして、毎年7月に『めだかの学校』を開催し、子供たちが自然に親しみ、町民がふれ合う機会として、年々参加者も増えています。また、ふるさとの環境は自分たちで守ろうと『郷土を美しくする清掃』や『ふるさとの水辺清掃ウォーク』を実施し、役場の職員と住民が一緒になって海岸清掃や河川清掃に取り組んでいます。

災害の記録としては、梅雨からの長雨により害虫が大発生した1732年の『享保の大飢饉』があ

りました。その飢饉の際、自らの命を犠牲にして後世のために麦種子を残した義農作兵衛翁の遺徳をしのび、毎年4月23日には、義農公園において義農祭を開催しています。『私』より『公』を『己』より『他』を大切にす義農作兵衛翁の精神は、『義農精神』として今日も松前町民に脈々と受け継がれています。

また、近年では平成3年に台風19号で海岸の堤防が決壊し床上・床下浸水の被害が出たり、取り入れ前の野菜が壊滅的な打撃を受けました。こうした経験に加え予想される南海・東南海地震に備え、自主防災組織の結成や避難場所になる学校など公共施設の耐震化及び北黒田海岸の堤防整備に取り組むと共に、大規模地震災害対策基金を創設し毎年増やしていくことにしています。今こそ、義農作兵衛翁の精神を実践するときであり、防災の街づくりに積極的に取り組みたいと思います。

まちの将来像である『人とみどりが輝くぬくもりの町 松前』の実現に向けて、海・川・湧水の多様で豊かな水に恵まれている本町の環境特性を今後とも大切に育み保全して、環境にやさしいまちづくりの一層の促進に努めてまいります。



水辺の動植物と触れ合うことで、自然の大切さや生き物に対する優しさを子供たちに学んでもらいます



義農作兵衛の精神は「義農精神」として今日も松前町民に脈々と受け継がれています



毎年、河川沿いの住民のみなさんがボランティアで清掃を行います